

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業計画期間	平成23年度～平成27年度																										
事業実施地区名 （都道府県名）		（たかはしがわかりゅう） 高梁川下流森林計画区 （岡山県）		事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署																									
事業の概要・目的			本事業は、高梁川下流森林計画区に所在する9,623haの国有林野を対象としている。国有林は、岡山県西部の新見市に散在しているほか、瀬戸内沿岸部に小面積の団地が所在する状況にある。 当計画区の国有林は、森林面積の6％程度であり、面積的に占める割合は低いものの、水源かん養保安林の指定が65％を占めるなど、脊梁部の水源地域は、下流域の水源かん養機能の確保に重要な役割を担っている。 また、高梁市近郊に所在する臥牛山国有林には、備中松山城趾が所在しており、登山やハイキングなど森林を利用したレクリエーション、保健休養の場として多くの人々に利用されている。 さらに、森林全体の人工林率が78％と非常に高いことから、地域の木材産業においては、ヒノキを主体として国有林に対する木材の安定供給への要請が高い状況にある。 このようなことから、当計画区においては、水源のかん養、木材生産をはじめ、自然環境の保全、風致景観の維持及び保健休養の場の提供などの森林の有する多面的機能を高度に発揮させることが求められている。 このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。																											
			<table><tr><td>主な事業内容</td><td>森林整備</td><td>更新面積</td><td>144</td><td>h a</td></tr><tr><td></td><td></td><td>保育面積</td><td>3,344</td><td>h a</td></tr><tr><td></td><td>路網整備</td><td>開設延長</td><td>7.6</td><td>k m</td></tr><tr><td></td><td></td><td>改良延長</td><td>3.9</td><td>k m</td></tr><tr><td colspan="2">総事業費</td><td colspan="3">1,529,940 千円</td></tr></table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	144	h a			保育面積	3,344	h a		路網整備	開設延長	7.6	k m			改良延長	3.9	k m	総事業費		1,529,940 千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	144	h a																										
		保育面積	3,344	h a																										
	路網整備	開設延長	7.6	k m																										
		改良延長	3.9	k m																										
総事業費		1,529,940 千円																												
費用対効果分析			総 便 益（B）			6,792,017 千円																								
			総 費 用（C）			1,820,881 千円																								
			分析結果（B／C）			3.73																								
評価結果			・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。																											